電話機の概要

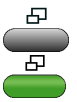
Cisco IP Phone 7970 シリーズは、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

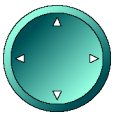
Cisco IP Phone 7970 シリーズでは、基本的なコール処理機能に加え、コール処理機能を拡張する生産性向上機能が用意されています。設定に応じて、次がサポートされます。

- ネットワーク データ、XML アプリケーション、および Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機の機能とサービスに対する、ユーザ オプション Web ページを使用したオンライン カスタマイズ
- 電話機のスクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

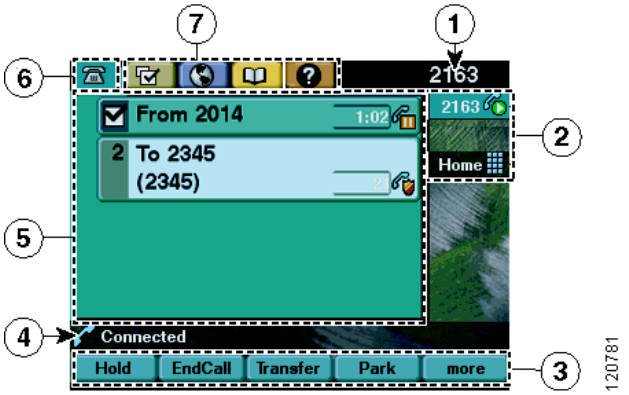
次の図で、ご使用の電話機のボタンとハードウェアを確認してください。

	項目	説明	詳細の参照先
1	プログラマブルボタン	設定に応じて、プログラマブルボタンから次に示す項目にアクセスできます。 • 電話回線（回線ボタン） • 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤルボタン） • Web ベースのサービス（個人アドレス帳ボタンなど） • 電話機の機能（プライバシー ボタンなど） 表示される回線ボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。 緑、点灯：アクティブなコール 緑、点滅：保留中のコール オレンジ、点灯：プライバシー機能が有効 オレンジ、点滅：着信コール 赤：共有回線を使用中 赤、点滅：ダイレクト コール パークを使用中	タッチスクリーンの機能（P.13）
2	フットスタンド ボタン	電話機本体の角度を調節します。	フットスタンドの調節（P.7）
3	ディスプレイボタン	タッチスクリーンをスリープ モードから戻したり、クリーニングのために無効にします。  色なし：入力可能な状態 緑、点滅：無効 緑、点滅：スリープ モード	機能ボタンとメニューについて（P.15）
4	メッセージボタン	ボイス メッセージ サービスに自動ダイヤルします（サービスによって異なります）。	ボイス メッセージへのアクセス（P.51）
5	ディレクトリボタン	［ディレクトリ］メニューを開閉します。履歴およびディレクトリへのアクセスに使用します。	履歴の使用（P.48）

6	ヘルプボタン	［ヘルプ］メニューをアクティブにします。	電話機のヘルプ システムについて（P.16）
7	設定ボタン	［設定］メニューを開閉します。これは、タッチスクリーンと呼出音の設定を変更するために使用します。	電話機の設定の使用（P.45）
8	サービスボタン	［サービス］メニューを開閉します。	ユーザ オプション Web ページへのアクセス（P.52）
9	音量ボタン	ハンドセット、スピーカフォン、およびヘッドセットの音量（オフフック）および呼出音の音量（オンフック）を制御します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法（P.43）
10	スピーカボタン	スピーカフォン モードのオン / オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっている場合は、ボタンが点灯します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法（P.43）
11	ミュートボタン	ミュート機能のオン / オフを切り替えます。ミュートがオンになっている場合は、ボタンが点灯します。	ミュートの使用（P.23）
12	ヘッドセットボタン	ヘッドセット モードのオン / オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっている場合は、ボタンが点灯します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法（P.43）
13	ナビゲーションボタン 	メニューのスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックになっている場合、発信履歴ログにある電話番号が表示されます。	履歴の使用（P.48）
14	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	基本的なコール処理（P.18）
15	ソフトキーボタン	タッチスクリーンに表示されたソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	タッチスクリーンの機能（P.13）
16	ハンドセットのライト ストリップ	着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	ボイス メッセージへのアクセス（P.51）
17	タッチスクリーン	電話機の機能を表示します。	タッチスクリーンの機能（P.13）

タッチスクリーンの機能

次の図は、メインのタッチスクリーンの外観を示しています。アクティブなコールが存在し、いくつかの機能メニューが開いた状態になっています。



1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号を表示します。
2	プログラマブル ボタン インジケータ	プログラマブル ボタンは、電話回線ボタン、短縮ダイヤル ボタン、電話機サービス ボタン、電話機機能ボタンとして機能します。アイコンとラベルによって、これらのボタンがどのように設定されているかが示されます。アイコンについては、このガイドの先頭にあるクイック リファレンス カードの「電話機のスクリーンのアイコン」を参照してください。
3	ソフトキーのラベル	ソフトキーの機能をそれぞれ表示します。ソフトキーのラベルは、指で触れると選択できます。
4	ステータス行	オーディオ モードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コール アクティビティ領域	現在のコールを回線ごとに表示します。たとえば、発信者 ID、通話時間、およびコールの状態などを、強調表示された回線ごとに表示します（標準の表示）。この領域の項目は、指で触れると選択できます。P.17 の「回線およびコールのアイコンについて」および P.24 の「複数のコールの表示」を参照してください。
6	電話タブ	コール アクティビティを示します。このタブを押すと、必要に応じてコール アクティビティ領域に戻ります。
7	機能タブ	開いている機能メニューをそれぞれ示します。タブは、指で触れると選択できます。P.15 の「機能ボタンとメニューについて」を参照してください。

タッチスクリーンの項目の選択

電話機のタッチスクリーン上の項目を選択する方法は 3 つあります。

タッチスクリーンの項目の選択方法	操作
項目を押す	指で触れて選択できるタッチスクリーンの項目を指で押すか軽くたたきます。 タッチスクリーンを押すときは指だけを使用してください。道具を使用すると画面に傷がつくおそれがあります。電話番号を押すと、電話機でその番号がダイヤルされます。
項目番号を指定する	キーパッドで該当する番号を押します。たとえば、メニューの 4 番目の項目を選択するには、**4** を押します。
項目までスクロールする	ナビゲーションボタンを押して、項目を強調表示します。ソフトキーを押して操作を終了するか、タッチスクリーン上の項目を指で軽くたたきます。

タッチスクリーンのクリーニングと保守

ディスプレイボタン を使用して、タッチスクリーンを無効または有効にすることができます。ディスプレイボタンの色によって、タッチスクリーンの状態の変化が次のように示されます。

- 緑、点灯：タッチスクリーンはスリープ モード
- 緑、点滅：タッチスクリーンは無効

目的	操作
クリーニングのためタッチスクリーンを無効にする	を 1 秒以上押します。が点灯します。 スクリーンは、有効にしない限り、約 1 分間無効になります。
タッチスクリーンを有効にする（無効にした後）	（点灯）を 1 秒以上押します。
タッチスクリーンをスリープ モードから起動する	タッチスクリーンまたは任意のボタンを押すか、ハンドセットを取り上げます。 システム管理者によって決められた非アクティブ時間が経過すると、タッチスクリーンは節電のためスリープ モードに入ります。このモードでは、タッチスクリーンには何も表示されず、は点灯しています。

注意 タッチスクリーンを拭くときは、乾いた柔らかい布だけを使用します。電話機に液体や粉末をかけないでください。電話機の部品が痛み、故障の原因となる可能性があります。

機能ボタンとメニューについて

機能ボタンを押して、機能メニューを開閉します。

目的	操作
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンを押します。 メッセージ サービス ヘルプ ディレクトリ 設定
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーションボタンを押します。
機能メニューの 1 つ前のレベルに戻る	**[終了]** を押します。メニューの最上位レベルで［終了］を押すと、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	タッチスクリーンで機能タブを押します。機能メニューごとに、対応するタブがあります。タブは機能メニューが開いているときに表示されます。

電話機のヘルプ システムについて

電話機には、包括的なオンライン ヘルプ システムが備わっています。ヘルプの項目はタッチスクリーンに表示されます。

目的	操作
メイン メニューを表示する	電話機の?を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。メイン メニューには、次の項目が含まれます。 • Cisco IP Phone について：電話機に関する詳細 • 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順 • コール機能：コール機能に関する説明や手順
ボタンやソフトキーを確認する	?を押してから、すばやくボタンまたはソフトキーを押します。
メニュー項目を確認する	?を押してから、すばやくタッチスクリーンのメニュー項目を押します。または、メニュー項目を強調表示して?をすばやく 2 回押します。
ヘルプを使用してヘルプを表示する	?を押します。数秒待ってから?をもう一度押すか、またはメイン メニューからヘルプを選択します。

回線とコールの違いについて

回線とコールを混同しないよう、次の説明を参照してください。

- 回線：他の人がコールを発信するために使用できる電話番号にそれぞれ対応しています。電話機は、最大 8 つの回線をサポートできます。電話機の回線を表示するには、タッチスクリーンの右側を見てください。回線の数は、電話番号および電話回線アイコン☎の数と同じです。
- コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は回線ごとに 4 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者は必要に応じてこの数を調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

回線およびコールのアイコンについて

電話機には、回線およびコールの状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	このコールが保留されています。P.22 の「コールの保留と復帰」を参照してください。
	リモートで使用中	共有回線の別の電話機に、接続コールがあります。P.34 の「共有回線の使用」を参照してください。
	認証されたコール	P.38 の「安全なコールの送受信」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.38 の「安全なコールの送受信」を参照してください。

機能のアベイラビリティについて

電話機のシステムの設定によっては、この電話機ガイドで示されている機能が使用できない場合や、機能が異なる場合があります。機能の操作方法またはアベイラビリティについては、社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合せください。